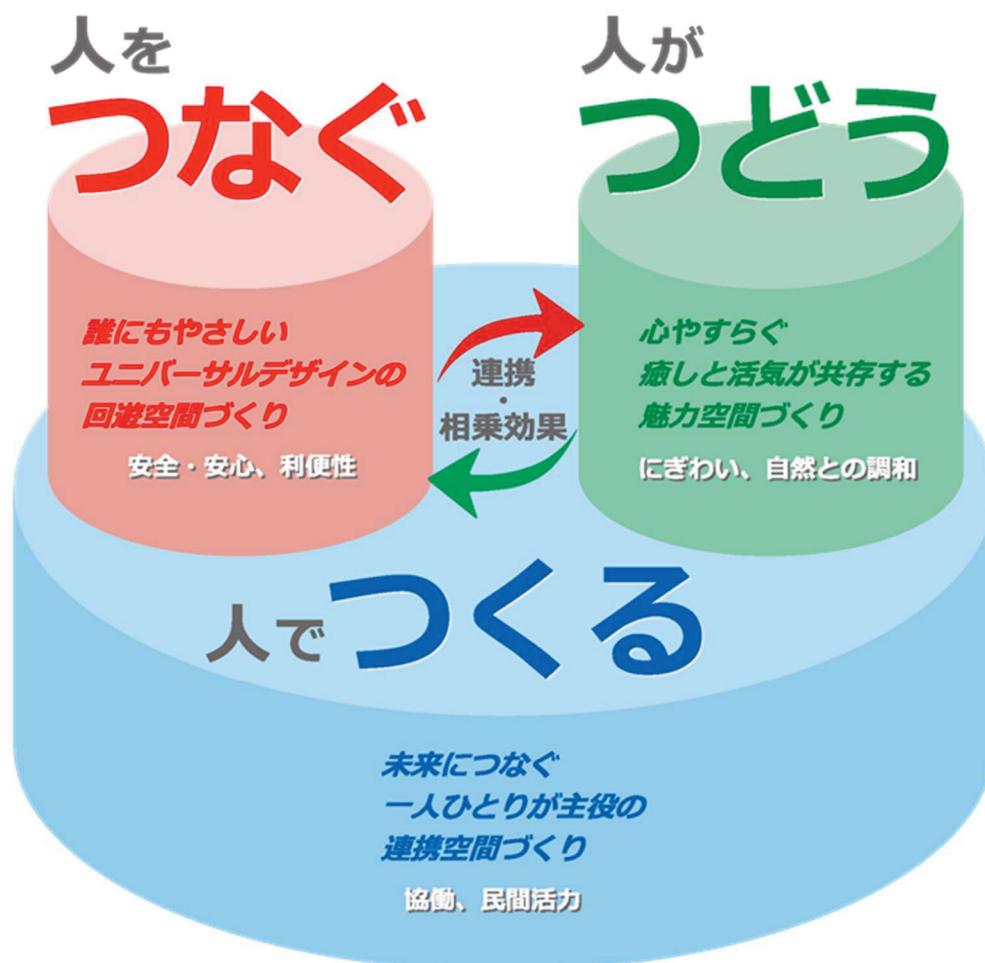


第3章 整備の基本的な方向性

本地区の課題を踏まえ、3つの視点から整備の基本的な方向性を整理します。

～人をつなぐ・人がつどう・人でつくる～



人を つなぐ

誰にもやさしい
ユニバーサルデザインの
回遊空間づくり

キーワード 安全・安心、利便性

- ① すべての人にやさしいユニバーサルデザインの考え方に基づき、ハード・ソフトの両面から、誰もが安心して利用できる環境づくり
- ② 鉄道事業者との連携、協力のもと、駅南北地区の連携強化と安全を確保
- ③ 歩行者が安心して通行でき、周辺居住者や来街者が徒歩圏の利便性を享受できる回遊ネットワークの確保
- ④ 鉄道、バス、タクシー、自動車、自転車、徒歩など多様な交通の円滑な連携・接続とともに、安全を十分に確保した利用しやすい交通環境づくり

人が つどう

心やすらぐ
癒しと活気が共存する
魅力空間づくり

キーワード にぎわい、自然との調和

- ① 新たな都市機能の誘導と既存の都市機能の活性化による機能の集積と高度化を図り、市内外から人が集まり交流できる“来たくなる場所づくり”
- ② 虹ヶ浜海岸と地区の玄関口となる駅近接エリアとの一体感、連続感に磨きをかけ、“癒し”を提供する都市空間を創出
- ③ ソフト事業を中心に、市民、事業者、行政など多様な主体が連携し、創意工夫を凝らしてにぎわいを生み出す仕掛けについて検討

人で つくる

未来につなぐ
一人ひとりが主役の
連携空間づくり

キーワード 協働、民間活力

- ① まちづくりへの参画を促進するとともに、まちぐるみ、地域ぐるみで地区の将来像を共有し、今後のあり方を考えていく機運の醸成
- ② 魅力的かつ効果的な事業推進に向け、民間のノウハウや企画力、資金などの積極的な活用を検討
- ③ 時代の潮流や、日常的に駅を利用する市民、将来にわたって整備結果を享受する若者等の意向やニーズを、継続的、かつ的確に捉えた本市にふさわしい玄関づくり

【参考】 「本地区の課題」と「整備の基本的な方向性」の相関図

